

第 2 章 心の健康サポートニーズ調査 実施結果

1. 調査体制

- 調査代表者
海原 純子 日本医科大学 特任教授
- 調査協力者
辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授
錦谷 まりこ 福岡女子大学国際文理学部 准教授

2. 調査の概要

(1) 調査目的

- 東日本大震災から2年10か月以上が経過した。被災者、支援者の間にも長期にわたる環境の変化により疲労が蓄積する時期ともいえる。
- 本調査の目的は、
被災地域に居住する参加者の心身の健康状態、被災者支援活動の有無、経済状況、発災後の転居回数、人に話しにくい悩みの有無、就労状態、生活満足度、地域とのつながり、生活満足度を上げるために必要と感じていることなどを調べ、アウトカムである健康指標や生活満足度に、支援活動の有無や地域とのつながりの強さ、被災体験の有無が影響する関係を明らかにする。

震災後の転居回数が1回以上の者を被災経験があるとみなし、心身の健康状態、地域とのつながりの強さ、経済状況、人に話しにくい悩みの有無とその内容を明らかにする。また、現在の生活に対してどのように感じているか、生活満足度を上げるために何が必要だと感じているか、について調査する。

地域とのつながりや支援活動と心身の健康状態、生活満足度との関わりを調べ、今後の支援の参考とする。

(2) 調査対象

- 心の健康サポートセミナー「第一部 心の健康サポート講演会」の参加者を対象とした。

(3) 調査方法

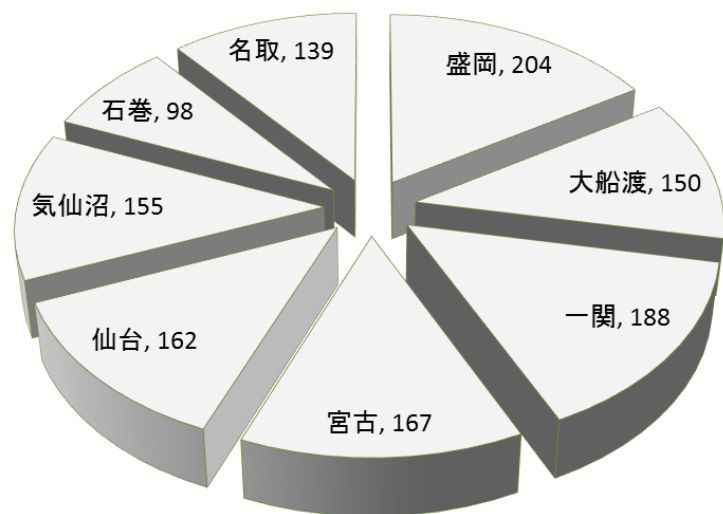
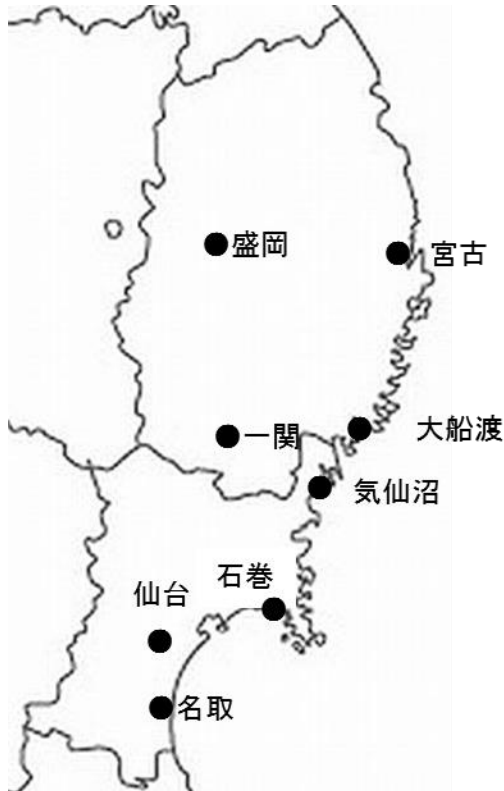
- 本調査は、「第一部 心の健康サポート講演会」の参加者を対象に、質問票による調査を実施した。質問内容は東北大学 辻一郎教授が実施した、厚生労働科学研究費補助金による平成24年度宮城県における東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査に用いられた質問表をもとにし、さらに被災者支援活動の有無、人に話しにくい悩みの有無、生活満足度についての質問を加えた。
- 質問票は、セミナーの第一部終了後に、講師が参加者に対し、調査内容と任意の参加であることを説明したうえで配布した。

(4) 調査期間

平成25年12月から平成26年3月まで

(5) 回収率

項 目	岩 手 県					宮 城 県					合計
	盛岡	大船渡	一関	宮古	計	仙台	気仙沼	石巻	名取	計	
調査票配布数(A)	219	158	194	187	758	162	158	102	143	565	1323
調査票回収数(B)	204	150	188	167	709	162	155	98	139	554	1263
調査票回収率(B/A)	93.2%	94.9%	96.9%	89.3%	93.5%	100.0%	98.1%	96.1%	97.2%	98.1%	95.5%



(6) 報告書の見方

- ① N(number of cases) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- ② 小数点以下を四捨五入しているため、各回答の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 複数回答の設問では、回答比率が 100%を超える。
- ④ 図表等で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ⑤ 無回答を除いて集計しているため各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。

3. 調査結果概要

1. 男女比について（関係資料 表1）

サポートニーズ調査回答者 1,263 名の男女比は、女性が 1,018 名で 81%、男性が 245 名で 19%と女性が多い。

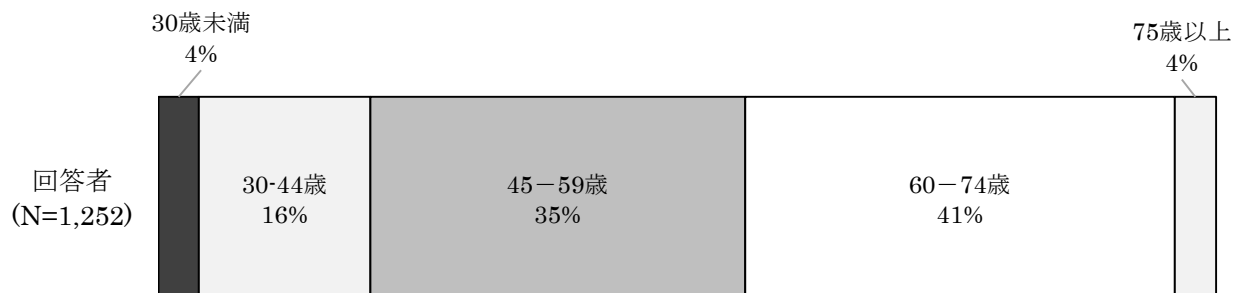
あなたの性別を○で囲んで下さい。（問1）



2. 年齢層について（関係資料 表1）

年齢層は、30歳未満が4%、30~44歳16%、45~59歳が35%、60~74歳が41%、75歳以上が4%となっており、60~74歳代が最も多く、45~59歳が続いている。

あなたの満年齢を記入してください。（問2）



3. 転居状況

(1) 震災後の転居状況について（関係資料 表2）

震災後、転居を1回以上経験した人は、全体の23%であり、転居経験のない人は77%であった。

震災から現在までの間に、避難所を含め何回転居されましたか。（問12）

（1つだけに○）

回答者
(N=1,186)

転居経験 あり
23%

転居経験 なし
77%

注：問12において震災後1回以上転居したと回答した人（問12の選択肢2～5を選んだ人）を転居経験ありとした。

(2) 転居経験者の割合／性別

震災後、転居を1回以上経験した男性は32%、経験のない男性は68%であった。

男性 (N=232)

転居経験 あり
32%

転居経験 なし
68%

震災後、転居を1回以上経験した女性は21%、経験のない女性は79%であった。

女性 (N=954)

転居経験 あり
21%

転居経験 なし
79%

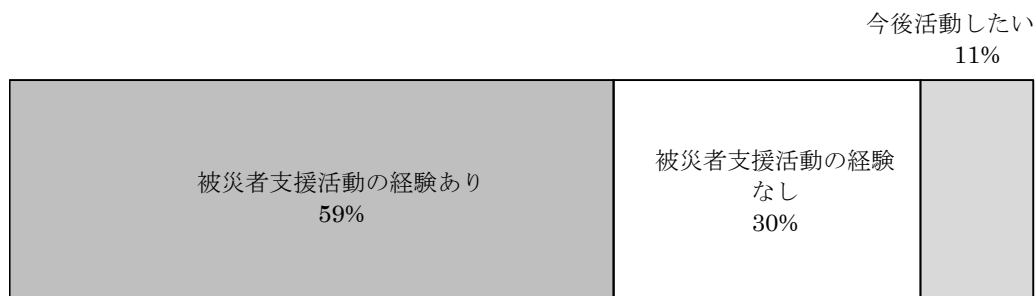
4. 被災者支援活動の経験について（関係資料 表 2）

被災者支援活動を経験した人は、全体の 59%、経験なしの人は 30%、今後活動したい人は 11%であった。

被災者支援活動（ボランティア活動を含む）についておたずねします。
当てはまるものに○を付けてください。（問 3）

（1つだけに○）

回答者
(N=1,235)



5. 地域とのつながりについて（関係資料 表 9）

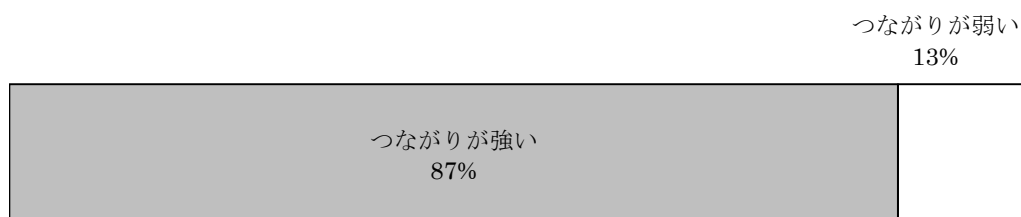
地域とのつながりが強い人は、全体の 87%であり、弱い人は 13%であった。

周囲の状況について

- ・まわりの人々はお互いに助け合っている。
- ・まわりの人々は信頼できる。
- ・まわりの人々はお互いにあいさつをしている。
- ・いま何か問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする。

（問 2 5～2 8）

回答者
(N=1,263)



注：問 25～28 において「強く思う」を4点、「どちらかと言えば思う」を3点、「どちらともいえない」を2点、「どちらかと言えばそう思わない」を1点、「全くそう思わない」を0点とし、得られた各問の合計総合得点が9点未満を「つながりが弱い」、9点以上を「つながりが強い」と定義した。

6. 暮らしむきについて（関係資料 表2）

（1）現在の経済状況について

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについて、大変苦しいと答えた人が2%、苦しいと答えた人が9%、やや苦しいと答えた人が22%、普通と答えた人が67%であった。

現在のくらしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（問10）

（1つだけに○）



（2）震災後の経済状況について

震災前に比べて、経済的に苦しくなったと答えた人が、全体の25%、変化なしと答えた人が、全体の73%、楽になったと答えた人が、全体の2%であった。

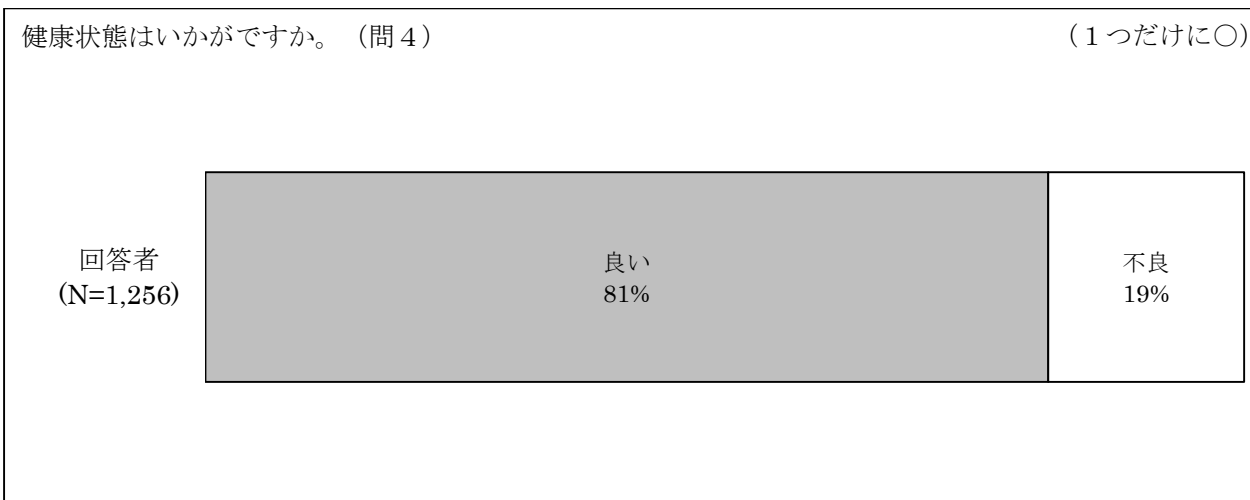
震災前に比べて、経済的な変化をどう感じていますか。（問11）

（1つだけに○）



7. 健康状態について（関係資料 表3）

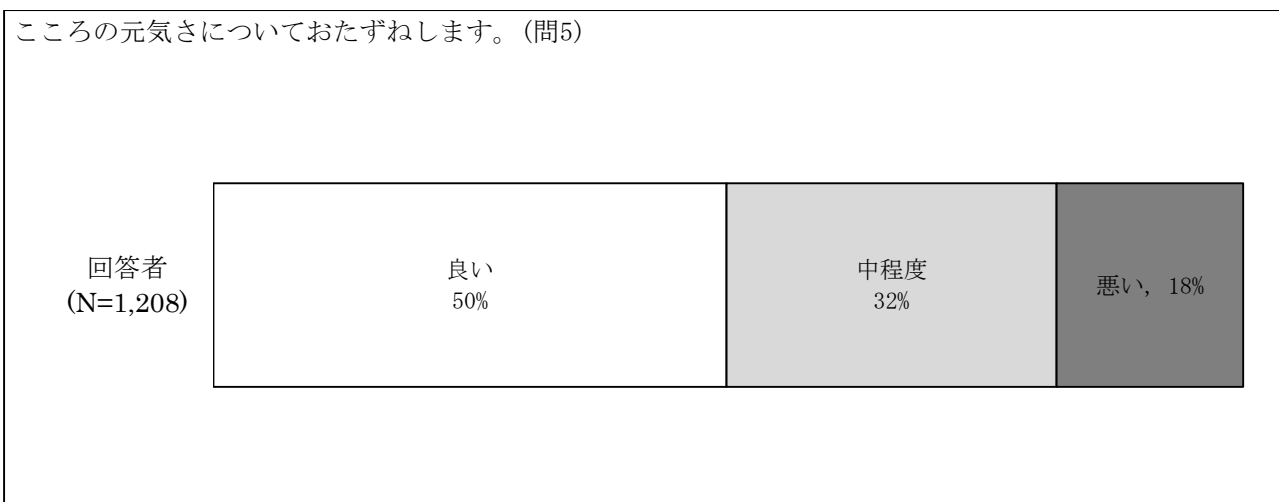
一般健康状態について、良いと答えた人が全体の 81%、不良であると答えた人が全体の 19%であった。



注：「とても良い」または「まあ良い」と答えた人を「良い」、「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。

8. 心の健康状態について（関係資料 表3）

K 6 を用いた心の元気さについて、良い人は全体の 50%、中程度の方は 32%、悪い人は 18%であった。



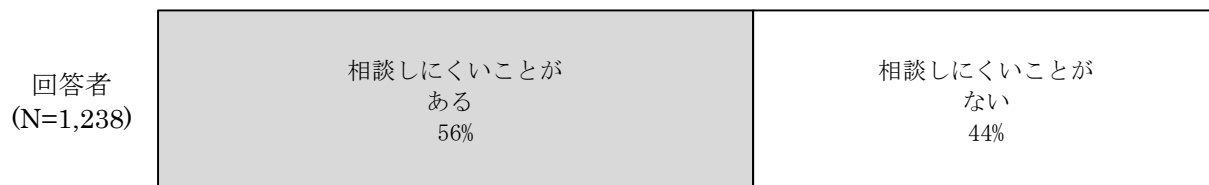
注：「K 6」とは、心の健康状態の指標として開発された自記式スクリーニング尺度であり、問 5 における 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とし 4 点以下を良い、5 から 9 点を中程度、10 点以上を悪いとした。

9. 相談しにくい悩みについて（関係資料 表3）

（1）心の負担感と相談しにくい悩み

心に負担感を感じていることで相談しにくい悩みを抱えている人は全体の **56%**、相談しにくい悩みのない人は **44%**であった。

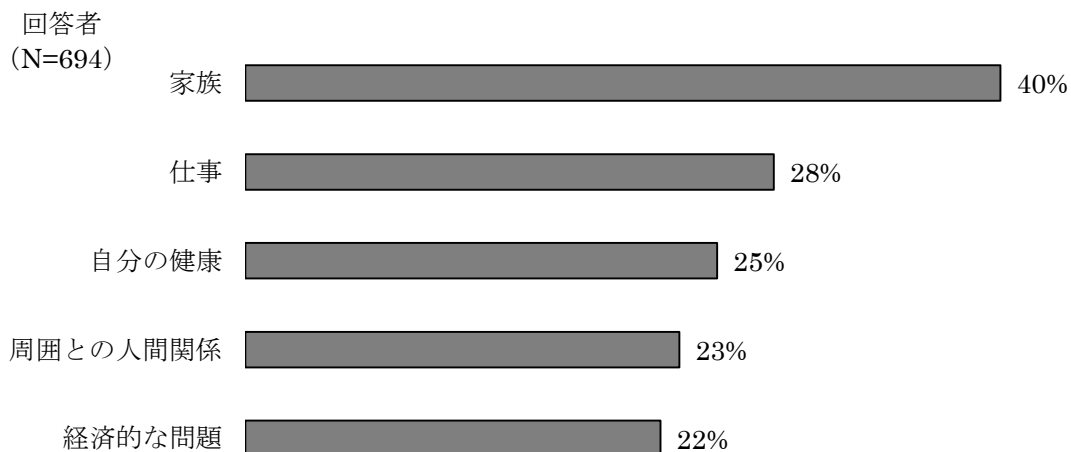
あなたが心に負担感を感じていることで人に相談しにくいことはありますか？（1つだけに○）
（問17）



（2）相談しにくい悩みの内容（関係資料 表3）

相談しにくい悩みがあると答えた 694 名における悩みの内容は、家族が **40%**、仕事が **28%**、自分の健康が **25%**、周囲との人間関係が **23%**、経済的な問題が **22%**であった。

相談しにくいことがあると答えた方に、それはどのような内容のことですか？（問18）（複数回答）



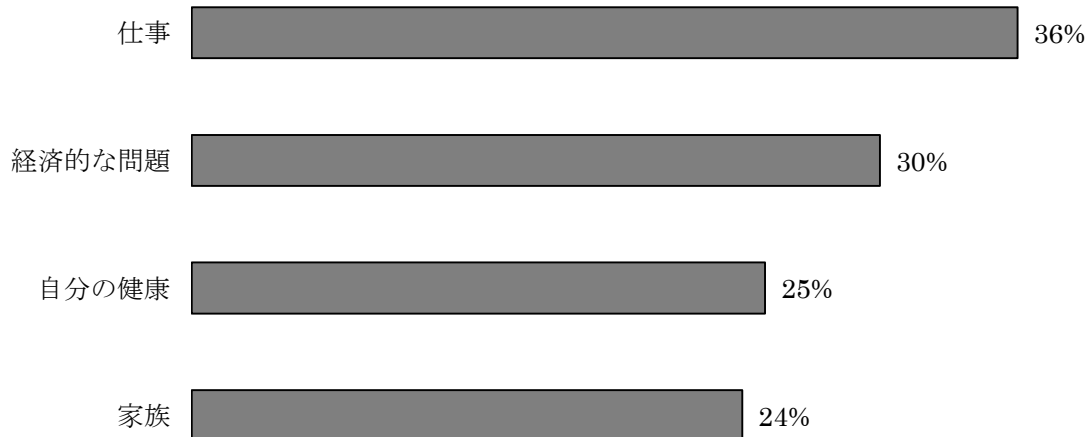
(3) 男性の相談しにくい悩み (関係資料 表3)

男性にとって相談しにくい悩みは仕事が 36%で、経済的な問題が 30%、自分の健康が 25%、家族が 24%であった。

相談しにくいことがあると答えた方に、
それはどのような内容のことですか？ (問18)

(複数回答)

男性 (N=103)



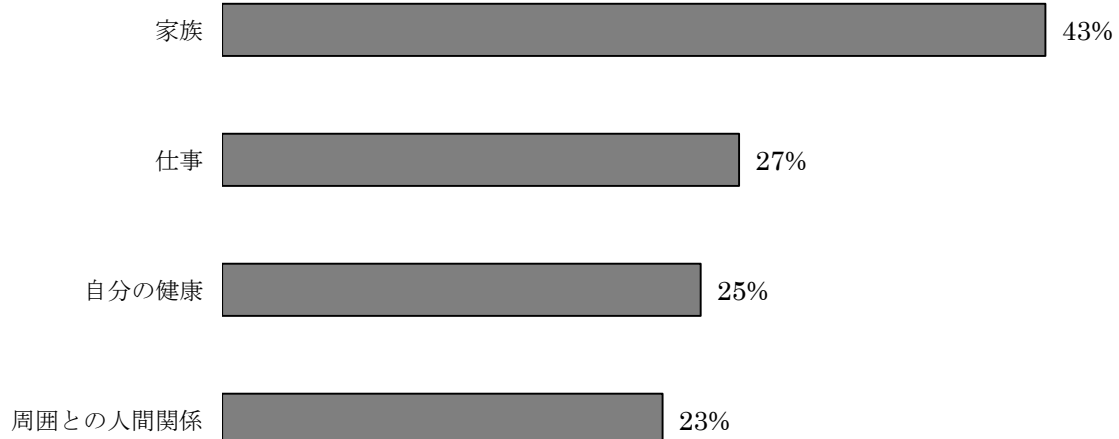
(4) 女性の相談しにくい悩み (関係資料 表3)

女性にとって相談しにくい悩みは家族が 43%、仕事が 27%、自分の健康が 25%、周囲との人間関係が 23%であった。

相談しにくいことがあると答えた方に、
それはどのような内容のことですか？ (問18)

(複数回答)

女性 (N=591)



10. 生活満足度について（関係資料 表4）

現在の生活満足度が高い人は全体の 33%、中程度の人が 31%、満足度が低い人が 36%であった。

現在、あなたはどの程度ご自分の生活に満足していますか。（問29）

（1つだけに○）

「とても満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

回答者
(N=1,236)



注：問29において0－5点を選択した人を「低い」、6－7点を「中程度」とし、8点以上を「高い」とした。

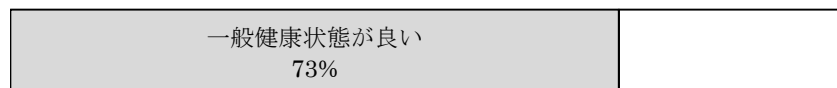
11. 転居による影響について

（1）転居と一般健康状態（関係資料 表3&表5－1）

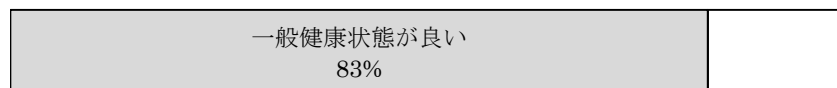
1回以上転居経験のある女性で、健康状態の良い人の割合は73%、転居経験のない人では83%と転居経験のある人では転居経験のない女性に比べて一般健康状態が良い人が少なかった。

震災から現在の中に、避難所を含め何回転居されましたか。（問12）

転居経験あり 女性
(N=197)



転居経験なし 女性
(N=747)



注：男性の転居経験者と転居未経験者の一般健康状態には有意差が認められなかった。

(2) 転居と心の健康状態 (関係資料 表3 & 表5-1)

男性の転居経験者で心の健康状態K6が良い人は32%、転居経験のない人では60%、男性転居経験者で心の健康状態が中程度の人では39%、転居経験のない人では28%、男性転居経験者で心の健康状態が悪い人は28%、転居経験のない人では12%と転居経験者では心の健康状態が良い人が少ない。

(問12)で転居経験1回以上と答えた男性と
転居経験なしの男性の心の健康状態(問5)

転居経験あり 男性 (N=71)	良い 32%	中程度 39%	悪い 28%
---------------------	-----------	------------	-----------

転居経験なし 男性 (N=151)	良い 60%	中程度 28%	悪い 12%
----------------------	-----------	------------	-----------

女性の転居経験者では心の健康状態K6が良い人は40%、転居経験のない人では52%、女性転居経験者で心の健康状態が中程度の人では34%、転居経験のない人では31%、女性転居経験者で心の健康状態が悪い人は26%、転居経験のない人では17%と転居経験者では心の健康状態が良い人が少ない。

(問12)で転居経験1回以上と答えた女性と
転居経験なしの女性の心の健康状態(問5)

転居経験あり 女性 (N=191)	良い 40%	中程度 34%	悪い 26%
----------------------	-----------	------------	-----------

転居経験なし 女性 (N=719)	良い 52%	中程度 31%	悪い 17%
----------------------	-----------	------------	-----------

注:「K6」とは、心の健康状態の指標として開発されたスクリーニング尺度であり、問5における6項目の質問それぞれについて「全くない」を0点、「少しだけ」を1点、「ときどき」を2点、「たいてい」を3点、「いつも」を4点として合計得点とし4点以下を良い、5から9点を中程度、10点以上を悪いとした。

(3) 転居と相談しにくいことの有無 (関係資料 表3 & 表5-1)

転居経験のある女性で「相談しにくいことがある」と答えた人の割合は 69%、転居経験のない女性では 58%と転居経験のある女性では「相談しにくいことがある」と答えた人が多い。

(問12) で転居経験1回以上と答えた女性で(問17)で「人に相談しにくいこ (1つだけに○) とがある」と答えた人の割合。

転居経験あり 女性
(N=194)

相談しにくいことが
ある 69%

転居経験なし 女性
(N=743)

相談しにくいことが
ある 58%

注：転居経験のある男性と転居経験のない男性では「相談しにくいことがある」と答えた人の割合に、有意差は認められなかった。

(4) 転居と生活満足度 (関係資料 表1 & 表7)

転居経験のある 60 歳以上の女性は、転居経験のない 60 歳以上の女性に比べて生活満足度の高い人が少ない。

(問12) で転居経験1回以上と答えた60歳以上の女性と、転居経験のない60歳 (1つだけに○) 以上の女性における生活満足度 (問29) が高い人の割合。

転居経験あり 女性
(N=61)

生活満足度が高い
26%

転居経験なし 女性
(N=321)

生活満足度が高い
41%

注：その他の年代の転居経験のある女性、男性のすべての年代の転居経験者では、転居経験のない人に比べて生活満足度に有意差は認められなかった。

(5) 転居と経済的变化 (関係資料 表2 & 表5-2)

転居経験のある男性で震災前に比べて経済的に苦しくなったと答えた人は39%、転居経験のない男性では25%と転居経験者では震災前に比べて苦しくなったと答えた人が多い。

(問12)で転居経験1回以上の男性と転居経験なしの男性で、
震災前と比べて経済的な変化をどう感じていますか(問11)
という質問に、苦しくなったと答えた人の割合。

(1つだけに○)

転居経験あり 男性
(N=74)

苦しくなった
39%

転居経験なし 男性
(N=156)

苦しくなった
25%

転居経験のある女性で震災前に比べて経済的に苦しくなったと答えた人は40%、転居経験のない女性では20%と転居経験者では震災前に比べて苦しくなったと答えた人が多い。

(問12)で転居経験1回以上の女性で震災前に比べて
経済的な変化をどう感じていますか(問11)という質問に、
苦しくなったと答えた人の割合。

(1つだけに○)

転居経験あり 女性
(N=197)

苦しくなった 40%

転居経験なし 女性
(N=751)

苦しくなった
20%

1 2. 被災者支援活動経験のある人の特徴について（関係資料 表 2 & 表 8）

（1）被災者支援活動と心の健康状態

被災者支援経験のある女性で、心の健康状態K6 が良い人は 54%、支援経験のない女性は 42%と被災者支援経験のある女性はない女性に比べて心の健康状態が良い人が多い。

（問 3）で「被災者支援活動についておたずねします」という問いに、経験ありと答えた人とそれ以外の人における心の健康状態が良い人の割合。

支援活動経験あり 女性
(N=567)

心の健康状態が良い
54%

支援活動経験なし 女性
(N=381)

心の健康状態が良い
42%

注：被災者支援経験のある男性と支援経験なしの男性では、心の健康状態(K6)良好の割合に有意差は認められなかった。

（2）被災者支援活動と生活満足度

被災者支援活動の経験のある女性で生活満足度の高い人の割合は 37%、支援経験のない女性は 29%と、被災者支援活動の経験ある女性はない女性に比べて生活満足度が高い人が多い。

（問 3）「被災者支援活動についておたずねします」という問いに、経験ありと答えた人とそれ以外の人における生活満足度（問 2 9）が高い人の割合。

支援経験あり女性
(N=577)

生活満足度が高い
37%

支援経験なし女性
(N=393)

生活満足度が高い
29%

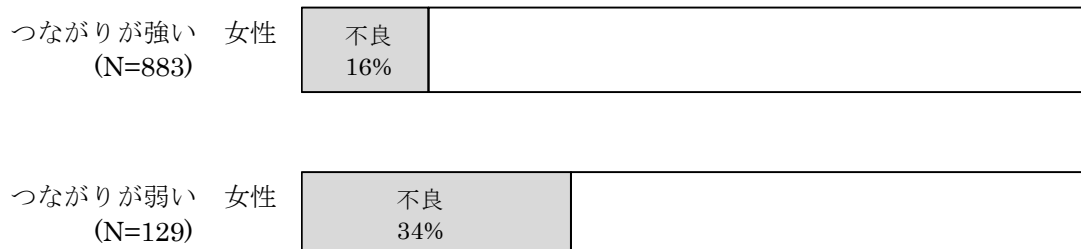
注：被災者支援活動の経験がある男性と支援活動経験のない男性では生活満足度が高い人の割合に有意差は認められなかった。

1 3. 地域とのつながりが強い人の特徴

(1) 地域とのつながりと一般健康状態 (関係資料 表 9)

地域とのつながりが強い女性で一般健康状態が不良である答えた人の割合は16%、地域とのつながりが弱い人では34%と、地域とのつながりが強い女性は、つながりが弱い女性に比べて一般健康状態不良の人が少ない。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりが強い女性とつながりが弱い女性で
(問 4) の一般健康状態が「あまり良くない」、「良くない」と答えた人の割合。

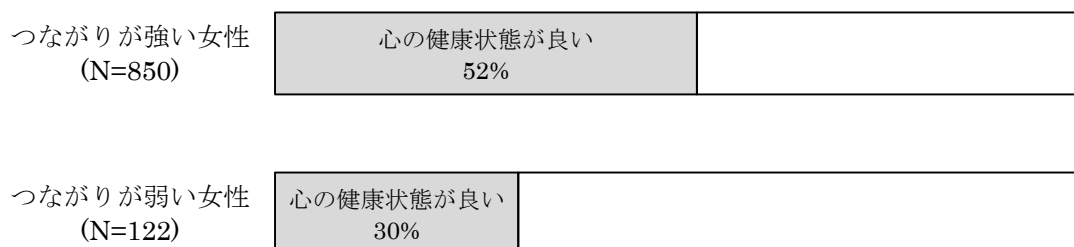


注：地域とのつながりが強い男性とつながりが弱い男性では、一般健康状態の不良の人の割合に有意差は認められなかった。

(2) 地域とのつながりと心の健康状態 (関係資料 表 9)

地域とのつながりが強い女性で、心の健康状態(K6)が良い人の割合は52%、つながりが弱い女性では30%と、地域とのつながりが強い女性は、つながりが弱い女性に比べて心の健康状態が良い人が多い。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりが強い女性とつながりが弱い女性で(問 5)心の健康状態が良い人の割合。



注：地域とのつながりが強い男性とつながりが弱い男性では、心の健康状態の良い人の割合に有意差は認められなかった。

(3) 地域とのつながりと相談しにくいこと (関係資料 表9)

地域とのつながりが強い女性で「相談しにくいことがある」と答えた人の割合は 57%、つながりが弱い女性は 75%と地域とのつながりが強い女性は、つながりが弱い女性に比べて、相談しにくいことがある人の割合が低い。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりの強い女性と、弱い女性で
(問 1 7)で「人に相談しにくいことがある」と答えた人の割合。

つながりが強い 女性
(N=875)

相談しにくいことが
ある 57%

つながりが弱い 女性
(N=123)

相談しにくいことが
ある 75%

注：地域とのつながりが強い男性とつながりが弱い男性では、相談しにくいことがあると答えた人の割合に有意差は認められなかった。

(4) 地域とのつながりと生活満足度 (関係資料 表9)

地域とのつながりが強い男性で生活満足度が高い人は 33%、つながりが弱い男性では 15%と地域とのつながりが強い男性はつながりが弱い男性に比べて生活満足度が高い人が多い。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりが強い男性と弱い男性で
(問 1 7) 生活満足度が高い人の割合。

つながりが強い 男性
(N=214)

生活満足度が高い
33%

つながりが弱い 男性
(N=26)

生活満足度が高い

15%

地域とのつながりが強い女性で生活満足度が高い人は 36%、つながりが弱い女性では 13%と地域とのつながりが強い女性はつながりが弱い女性に比べて生活満足度が高い人が多い。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりが強い女性と弱い女性で
(問 1 7) 生活満足度が高い人の割合。

つながりが強い女性
(N=881)

生活満足度が高い
36%

つながりが弱い女性
(N=115)

生活満足度が高い

13%

(5) 地域とのつながりと経済状況 (関係資料 表 9)

地域とのつながりが強い女性で震災前に比べ経済的に苦しくなったと答えた女性は 22%、つながりが弱い女性では 32%と地域とのつながりが強い女性は弱い女性に比べて、震災前に比べ経済的に苦しくなったと答える人が少ない。

(問 2 5 ～ 2 8) 地域とのつながりが強い女性と弱い女性で、
(問 1 1) 震災前に比べて経済的に苦しくなったと答えた人の割合。

つながりが強い女性
(N=888)

苦しくなった
22%

つながりが弱い女性
(N=130)

苦しくなった
32%

注：地域とのつながりが強い男性とつながりが弱い男性では、震災前に比べ経済的に苦しくなったと答えた人の割合に有意差は認められなかった。

